



クラブ会長ターゲット
「奉仕して学び向上しよう」
"Serve, learn and improve"
2022-2023年度
東京臨海ロータリークラブ会長
杉浦孝浩



国際ロータリーテーマ
「イマジン ロータリー」
"IMAGINE ROTARY"
2022-2023年度
国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ



衛星クラブ議長ターゲット
「自主性を持った奉仕と運営」
"Independent Service and Management"
2022-2023年度
東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ議長
小松啓祐

2022年9月14日

東京臨海 RC 【第1251回例会】
東京臨海北斗 RSC 【第60回例会】

東京臨海RC

創 立：1994年8月8日
会 長：杉浦孝浩
副 会 長：酒井教吉
幹 事：井上晴貴
プログラム
構成委員長：伊佐康暢
(会報担当)

東京臨海北斗RSC

創 立：2020年12月18日
議 長：小松啓祐
副 議 長：大貫翔吾
幹 事：井上晴貴

9月14日の卓話

「私のロータリーモーメント」
東京臨海RC直前会長 佐藤 大輔様

9月28日の卓話

「私のロータリーモーメント」
東京臨海RC元幹事・東京臨海北斗RSC直前議長
坂本 康朋様

《2022年8月31日例会報告》

東京臨海 RC 第1250回
東京臨海北斗 RSC 第59回

司会：内海会員

- 点鐘：東京臨海 RC 杉浦孝浩会長
東京臨海北斗 RSC 小松啓祐議長



- ロータリーソング斉唱「手に手つないで」
：ソングリーダー：吉成副委員長
- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」東京臨海 RC 抜萃 Ver. 唱和
：酒井副会長



- 来賓・ゲストスピーカー紹介：杉浦会長
ゲストスピーカー
山口雅弘様（東京臨海北斗RSC会員）
見浪大介様（東京臨海北斗RSC会員）
米山奨学生 レー・クオック・アン様とご家族様
(ZOOM 出席)

- ビジター紹介：高吉会員
高野光博様（吉成会員ゲスト）



- 会長報告：杉浦会長
・ご挨拶
米山奨学生 レー・クオック・アン様とお父様

- 幹事報告：井上幹事
・9月7日（水）の当クラブ例会は当初より例会なしの
予定です。9月10日（土）の移動例会は行わないこ

とになりましたので、次回例会は9月14日(水)です。

- ・地区大会2日目の9月10日(土)に登録されている皆様は、ご出席よろしくお願い致します。9月10日(土)の会場は、グランドプリンスホテル新高輪です。また、事前登録をされていない方も当日登録が可能です。
- ・ガバナー月信9月号を8月26日に会員皆様へメール転送致しました。
- ・ロータリーの友9月号をメールボックスに配布しました。



■委員会報告

- ・国際奉仕委員会(勝間田委員長)
バギオ基金創立40周年記念祝賀会参加のため来日されるバギオ・サマーキャピタルRCの皆様の歓迎会を9月7日(水)に東武ホテルレバント東京で行うことになりました。今回は、コロナ禍であり、会場の都合で東京臨海RCからは三役、齊藤会員、国際奉仕委員長、姉妹クラブ担当、副幹事の7名で参加致します。皆様には、歓迎会のご寄付をお願いしておりますが、ご協力頂き感謝申し上げます。

■出席状況報告：櫻田委員

東京臨海RC

会員数：57名
出席：35名
欠席：22名
出席率 61.40%

東京臨海北斗RSC

会員数：25名
出席：15名(例会場：7名 ZOOM：8名)
欠席：10名
出席率 60.00%



■ニコニコBOX報告：工藤会員

(ご意向)山口さん、見浪さん、イニシエーションスピーチ宜しくお願いします。：杉浦会長、酒井副会長、井上幹事、勝間田会員、柴田会員、伊佐会員、寺田雄司会員、小松啓祐会員、齊藤会員、須藤会員、田中会員、今会員、内海会員、太田会員、佐藤大輔会員、本多会員、白井会員、大貫会員、米衛会員、濱田会員、

高橋会員、田村会員、櫻田会員、渡辺会員、秋田会員、吉成会員、菅原会員、小林誠会員、須田会員、大西会員、佐久間裕章会員、尾身会員、今井会員、工藤会員(ご意向)本日の例会に、米山奨学生のアン君とご家族がZOOMで参加します。宜しくお願いします。：山田晃久会員

(ご意向)本日は、イニシエーションスピーチをさせて頂きます。宜しくお願い申し上げます。：見浪会員

【34件 55,000円 今年度累計 600,000円】

■卓話(紹介者：プログラム担当 今委員)



「イニシエーションスピーチ」

東京臨海北斗RSC会員 見浪大介様

皆様、改めましてこんにちは。ただいまご紹介にあずかりました「見浪大介」と申します。

2020年12月に東京臨海北斗ロータリー衛星クラブに入会させていただきました。入会させて頂いた経緯ですが東京臨海ロータリークラブの鈴木会員からのご案内に喜んで入会をさせて頂いた、京葉鈴木グループ衛星クラブ会員と同じ経緯になります。

皆様の貴重な時間の中で、このようなスピーチの場を設けていただき、誠にありがとうございます。短い時間ではありますが、少しでも私自身の事を知って頂ければ幸いです。拙い話もあるかと思いますが、宜しくお願いいたします。

私は現在、京葉鈴木グループ・理研工営株式会社、代表取締役を仰せつかっております。業種は産業廃棄物の中間処理業です。弊社が取り扱っている産業廃棄物は工事現場等で排出される建設汚泥(土)になります。弊社グループでは関東に7つの中間処理場と建設汚泥を主原料としたリサイクルセンターが3施設稼働しております。建設汚泥以外の産業廃棄物も、対応できる施設がございますので、産業廃棄物・土に関することでしたら、お役に立てることがあると思いますので、ご連絡をお持ちしています。

先ず私の家族構成ですが妻と11歳の長女・7歳長男・生後9カ月の次男と5人家族、江戸川区在住です。

そして現在に至るまでの生い立ちを話させていただきます。

(タイトル：七転び八起き)

1980年9月13日生まれの41歳です。千葉県の市川市で生まれました。今では再開発で無くなってしまいましたが市川駅南口にあった商店街に家がありました。私が産まれる前は同居していた祖父母が本屋を営んで

いたそうです。(祖父からよく聞かされましたが、私の父が始めた本屋ですが経営がうまくいかず、祖父に押し付け、父は旅人になったそうです)

兄弟は12離れた兄と6つ離れた姉、そして末っ子の私です。

私の父ですが30歳で旅人を終え、健康保険組合に務めるサラリーマンでした。とてもサラリーマンには見えない風貌でした。頭はニグロパーマ、見た目は完全にあちらの方と同じでした。見た目の怖さだけでなく、父は空手の有段者で腕っぷしも強く仕事が終われば毎日ランニングに筋トレ、テレビを見ている時もずっとダンベルで鍛える。気分を害せば、鉄拳&ダンベルが飛んでくる。父のことは短気で怖いというイメージしかなかったです。(今だに衰え知らずの79歳、毎日ランニングに腕立腹筋300回やっています。)

私の幼少期はそんな父とは正反対の性格でした。小学3年生まで苛められる毎日、朝登校しても教室に居場所がなく授業が始まるまで一人校庭で時間を潰していました。そんな時に朝練をしていた相撲部の先生から興味があるなら一緒にやろうと声をかけていただき、そのまま相撲部に入部しました。3年生から6年生まで相撲部に所属し、大会でもそれなりの成績を残せることができました。何より3年間で苛められない身体(ただのぼっちゃり)と精神が強くなったことが人生一度目の転機でした。

中学生、時代はヤンキーからジャニーズ、木村拓哉、パンチパーマよりロン毛の時代でした。と言いながらも地元が青春・恋愛をする環境ではなかったので、テレビやドラマの影響で勝手に青春=バイト=恋愛と思い、当時南行徳にあったジャイアンツという焼肉屋さんで年齢をごまかして働きました。(当時14歳の夏)直ぐに恋愛も実りましたが恋愛よりもバイトが楽しく、やればやるだけ賃金がもらえ、褒められれば言葉だけでなく、対価・時給にも反映する面白さ、働く楽しさに目覚めた二度目の転機でした。

働く楽しさを覚えてしまったので高校も入学はしましたが1ヵ月で卒業(自主)しました。学校を辞める、初めて父親に反抗する内容でしたので、父に言うのが怖くて辞めたことを伝えるのに3ヵ月かかりました。伝えた時、ぶん殴られるかと思いきや

『お前が高校辞めるなら父さんも会社辞める!お前が大学卒業するまで、あと7年・定年まで働かなきゃと思っていたが、お前が自立してくれるなら、父さんと母さんは空気の美味しい田舎で第二の人生を送る』と数ヵ月後、53歳で退社し、第二の人生を送る家探しの旅に出ました。祖父から聞いていた駄目な旅人ではなく、懐の深い父親を感じました。

数ヶ月後、バイトを辞め内装業の会社に勤めました。現場作業で何かと移動が多かったのでバイクの免許取得を考えました。この免許取得に関する事で三度目の転機を迎えることになりました。早く免許が取得できるようにと合宿教習所に行きました。その合宿先で集団リンチに遭いました(全治1ヶ月)。原因は合宿先で出会った先輩方のジュースを買ってこいなどの使い

っ走りを通った為です。今、ジュースを買ってこいと言われれば、喜んでジュース買ってきます。転機になったのはこの時にもらった慰謝料300万円です。大金・お金の意味も使い方も理解していない16歳の子供です。お金を持って遊ぶ楽しさに夢中になり、焼肉屋で出会った彼女とも酷い別れ方をしました。お金が底をつく時、自分の無意味なお金の使い方や振る舞いにすごく後悔しました。

三度目の転機は遊ぶことに溺れ、金銭感覚がズレて普通の仕事が勤まらない最低な状態になっていました。

そんな時、父親から連絡があり第二の人生は長野県小川村に場所を決めた、ログハウスを建てるので手伝ってほしいと連絡がありました。基礎工事以外、全部自分達でやったので完成に2年かかりました。その間、仮設の小屋で父・母・私、ラジオだけの生活でしたので、すっかり更生できました。

それから4年ほど真面目に内装・設備関係の仕事をしていましたが、左手の神経が切れる事故があり、しばらく力仕事ができない状態になり、転職しました。新しい仕事は運転手兼雑用。当時、結婚を前提に同棲していた彼女の親戚、叔父さんが他分野に及ぶ仲介業者をしており、運転手をしながら仕事に関する考え方を学びました。マネジメント、ドラッカーの本なども読まされました。1年ぐらい仕えた頃、叔父さんから投資事業の話を持ち掛けられ、内容も理解しないまま投資して、結果2,000万円を騙されることになりました。安易な儲け話、身内だから大丈夫だろう、23歳四度目の転機は行動が伴わない欲が先行し最悪な状況へ。叔父さんは失踪し、私は無職の無一文になりました。食べる為に先ず日払いのバイトに出ました。カッターでひたすら段ボールを壊すという作業をやっている時、気が狂いそうになり、俺はこんな程度の男じゃないと叫び、その場でカッターを投げ捨て、結婚を直前に控えていた彼女とも、二度と連絡が取れないようにと目の前で自分の携帯を叩き壊して、別れました。自分が悪いのにまたまた酷い別れ方をしました。

この後、無一文の家なき子になり車で生活する日々が何ヶ月も続きました。知人等とも関係を絶ちかけたので夜の仕事、抵抗はありましたが風俗の客引きなどもやりました。いざやってみると究極の営業、いい経験でした。ですが夜の世界は色々な話が渦巻いており、直ぐに五度目の転機が訪れました。ご想像に任せします。

その後は起業して大型ダンプを購入・自分で運転をして、それなりに順調でしたが六度目の転機に悪いことが起きるのではと不安でしたので、悪くなる前に良い時に環境を変えようと決断しました。縁のあった衛星クラブの菅原会員のおかげで京葉鈴木グループの一員になれ、私の人生六度目で将来に繋がる最高の転機を迎えることができました。

2008年3月28歳の時にKSG運輸部門配車係として入社しました。2019年10月からは現在に至ります。早14年以上お世話になっています。振り返ると入社当時、100人のドライバーさんは全員年上でしたので、いくら正論で指示を出しても素直に行動してくれませんでした

た。ドライバーさんから業務無線で問いかけられれば、直ぐに判断、即答を迫られる。これは客引きの経験がとて活かされました。お客さんと話した瞬時にどんな人か判断して即答するのと同じだと。騙されはしたが、叔父さんの下で学んだ仕事に対する考え方もドライバーさんを纏めていくのにも役立ちました。2015年には運輸部門に千葉支店長に就任できた時はうれしかったですが同時に七度目の転職が訪れました。これまた当時、結婚を前提に同棲していた彼女に今は主任だけど課長ぐらいに出世したら結婚しようと約束していたのですが、たまたま街で従業員に会って『見浪支店長』と呼ばれ、結婚が決まりました。ですが性格の不一致、二年で別々の道を歩むことになり、慰謝料・または無一文になりました。(基本、パートナーとお金がセットで無くなります) 私生活とは裏腹にグループでは大役を仰せつかっております。色々なことがありましたが、このおかげで菅原会員との縁が始まり、グループの皆様・ご縁をいただいた皆様のおかげだと感謝しています。そして何より両親に感謝しています。私は父から一度も勉強しろと言われたことがありませんでした。社会に出たら『付き合いのできる人が出世する』とゴルフ・麻雀・酒(父は飲めませんが)、全部教わりました。学や知識、お金がなくても時間なら仕えられるだと社会で生きていく術を教わりました。父の教えの通り、誘って頂いた、ゴルフや飲食の機会ですぐ交流を深められ、円滑な業務に繋げられたことで、今の自分があると父に感謝しています。

2021年には再婚、子供が生まれました。生まれた男の子ですが名前を『凧咲』とつけました。(凧ぐ: 風や波がおさまる、和む) 私の見浪の『浪』は波浪警報の口ウに使う激しい浪を表しているそうです。私みたいな激しい浪の人生でなく、波の少ない穏やかな人生を送ってほしいという願いを込めてつけました。家族が増え、不自由なく過ごせている今が8度目の最良の転職になっていると思います。

ご縁をいただいた皆様、私に9度目の転職が訪れないよう、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。



皆さん、こんにちは。山口雅弘と申します。コロナの前だったと思うのですが、入会をさせていただいております。今の見浪さん、非常にお話がうまくて、かえって緊張してしまっております。よろしく願いたします。

仕事としては、今、税理士業をやっております。資格としては公認会計士と税理士を一応持っているのですが、今は税理士をやっております。生年月日が、恐らくここにいらっしゃる方のほとんどが一回り以上下だと思っております。私、昭和35年2月27日生まれです。今62歳です。

今、事務所としては、埼玉県の所沢でやっております。何で、所沢からわざわざというお話があるのですが、今そこでニコニコされている鈴木総代に、15年ぐらい前でしたかね、お会いさせていただいて、ちょっと、おまえも入れと言われて、入らせていただいております。というわけで、ちょっと所沢から遠いので、なかなかお伺いできないのですが、今はそんなふうにしております。

私、今所沢に住んでますけれども、元々は名古屋生まれです。父が銀行員だったもので、父の転勤の中で、名古屋で生まれたということなのですが、名古屋をほとんど知らなく、生まれてすぐ東京の方に来ておまして、その後、ちょうど大阪で万博があった頃、1970年って多分生まれてらっしゃらない方も結構いらっしゃるのかなと思いますけれども、その頃に大阪に住んでおまして、それからまた東京に戻ってきて、大学の頃に所沢に引っ越したというところです。

あとは、今は独身です。「今」って言いました。1回は結婚していました。ちょうど50になるときですから、13年ぐらい前に離婚しました。恐らく、離婚の原因って多分皆さん知りたいですよ、当時は、正直言ってかなり遊んでいました。仕事もすごくやっていましたけれども、かなり遊んでました。仕事が終わるのが、早く夜1時でした。大体2時、3時に帰って、次の日朝6時半ぐらいにもう家を出るような生活をしていました。仕事をとにかくやるのだということやっていて、ただ、仕事をやる目的っていうのが、単純に処理の量をこなすとかそういうのではなくて、今、自分が次に行きたいところの修行だと思ってやっていました。この間を修行の時期だと思ってやっていたので、あんまりきつかったって気持ちはないのです。私、社会人になってから、別に休みだとか、時間だとかってあんまり気にしない方で、よくうちの部下にも言われるのですが、この間も、夏休み取るのを忘れて仕事していたら「休み取らないのですか」って言われて、ああ、そっかとかって感じで、全然休みの感覚がなくて、うちの従業員たちに申し訳ないなと思っているのですが、うちの事務所としては、ちゃんと労働基準法にのっとったところでやっております。話があっちは行ったりこっち行ったりしていますけど、一応独身で、子どもはできませんでした。なので、まだ頑張れるかなと思って、歌手の松崎しげるさんって方、ご存じで

すかね。あの方が今、70 過ぎだと思うのですが、奥さん、確か 24 歳ぐらいだと思うのですが、まだまだあと 10 年はいけるかなと思っております。

先ほど、ちょっと資格の話させていただいたのですけれども、私がなぜ公認会計士を目指したかというところなのですけれども、父親が、さっき申した通り銀行員だったのですけれども、私が小さい頃から父親に「資格を持った仕事に就け」とずっと言われていました。小学生の頃からずっと言われていて、なぜかという、父が元々弁護士になりたかったらしいのです。弁護士になりたかったのだけど、ちょうど戦争が終わって、まだ日本経済がゴタゴタ、バタバタしているところで、その時間がない、お金もないというところで、取りあえず就職しないと私の祖父、祖母、それから父の兄弟を養っていけないということで銀行に勤めたという話でした。それなので、小さい頃から父は私に「資格を持った仕事をやれ」「資格を持った仕事をやれ」ってずっと言われていまして、なんとなくその頭でいて、大学3年、4年ぐらいになると、そろそろ就職とかっていう話が出てくるのですけれども、全然勉強してなかったんですね。大学の授業もほとんど出ていませんでした。大学1年の必須科目を、最後の卒業のときにやっと取ったぐらい勉強してなくて、とにかく友達とずっと遊んでばかりの大学時代を送っています。今から考えると親に申し訳ないことなのですけれども、3年、4年、だから、こんな勉強してないから、当然試験なんかは無理だろうと思って、一時期、就職をしようと思ったのですよね。いろいろリクルート雑誌を買ってきたり、いろいろ就職の情報を集めたりとか、仲間にも話聞いたりとかしていたのですけれども、どうも自分が行きたい業種がなかったのです。このまま入っても意味ないかなというふうに思いまして、大学の4年のときに、会計士の試験って毎年夏にあるのですけれども、夏の試験は当然落ちますわね。勉強してなかったですから落ちて、落ちたときに、父親と母親に頭を下げて、本当に申し訳ない、全然勉強してなかったということで、浪人させてくれと、行きたい会社がないということで頭を下げました。父は「分かった」と、ほんとに一言でした。それが逆に厳しいっていうのかな、自分に対してすごいプレッシャーでした。母親もそれについて何も言わず、というところでした。ところが、やっぱり1年目、大学卒業した年の夏には当然落ちました。で、私、その次の年、24のときに会計士の試験受かったのですけれども、その父、母の件もあったし、あとはもう一つ、大学時代に会計士を目指す仲間たちが、大学を卒業した年の会計士の試験が終わった2週間後ぐらいに、旅行に誘ってくれたのです。旅行に誘ってもらって、そのときものすごいショックを受けたのが、まだ卒業して、彼らも社会人になってまだ4カ月ぐらいのときに、たった4カ月で、社会人になるとこんなに大人になるのだっていうのをすごく痛烈に感じてしまって、これは、俺は駄目だと。親のすねかじってプータローをやって。プータローですよ、言ったら。ただ自分の思いだけで、資格を取りたいと言っているだけじゃ世の中認めてくれないというふうに思いまし

て、そこから1年間が、本当に、自分で言うのは変ですけれど勉強しましたね。勉強したっていうか、ただ、試験に受かる、受からないということはなんにも全く考えなくなって、とにかく勉強するっていうことで、勉強することだって、全然苦痛でもなかったです。今でも母親に言われるのですけれど、その頃、例えばお風呂に入るじゃないですか、私がお風呂に入っただけで出てきちゃうのです。「どうしたの」って、「今、入ったばかりよ」って言われて、あ、そうだったのか、とか。あるいは、風呂に入ったまま出てこなくなったとか。お風呂が慌てて呼びに来たとかいうことがあって、要は、会計士の受験科目が、当時2次試験7科目あったのですけれども、それをずっと頭の中でぐるぐる、ぐるぐる考えていたのです。ちょっと世の中のことも全く分からないような状況で過ごして、それでもなんとか次の年、24歳のときに受かりました。

24歳で受かって、通常は監査法人というところに勤めるというのが一般的なのですけれども、私が会計士の資格を一生懸命取ろうと思ったきっかけで、先ほどお話ししたところなのですけれども、要は自分が社会人になってない、大人になってないっていう、それを痛烈に感じていたので、ただ試験受かったからといって社会人なんか通用するものかと、大人になんかなれないよと思ったので、私はそのまま、どっちかという後輩たちに教えたいって気持ちがちょっとそのときに芽生えていて、いわゆる会計士の専門学校の講師になるということで、父親に話をしました。ところが、すごい反対をされて、当時、父の勤めていた銀行の弁護士がうちに来たりとか、父の銀行の監査法人の代表社員がうちに来たりとかして、とにかく入れって言われてしまって、でも、入らないって言うたんですけれども、こうこう、ここで話したような理由で入らない、社会人経験してからだということを書いていたのですけれども、そのときに、監査法人代表社員にこっぴどく怒られました。要は「おまえは何言っているんだ」と。「俺をばかにするのか」って言われたのです。要は「公認会計士の試験受かって監査法人に入ったら、まともな社会人じゃないのか。大人じゃないのか」と。「おまえはそういうことを言っているんだぞ」というふうに叱られました。その場で書類にサインをさせられ、入りました。監査法人に入っただけですけれども、どうも自分の中でしっくりは行ってなかったんですけれども、監査法人に入って、いわゆる上場企業の監査というところをやっていました。上場企業の監査って、多分、皆さんお付き合いされている税理士の先生いっぱいいらっしゃると思うんですけれども、税理士の先生って、意見くれますよね。アドバイスくれたりとか。監査法人の上場企業の監査部隊ってアドバイスしちゃういけないのです。自分の意見を言っちゃいけないのです。もちろん、社会人になって、社会人といったって、社会経験してないですし、ちゃんと大人になってないですから、アドバイスなんかできるわけがないのですけれども、ただ、そのときに、その優良会社の方々とお付き合いをさせていただいた、もちろん経理部門だけじゃなくて、営業やら現場の方と、結構私こういう性格なの

で、どんどん、どんどん話しに行っちゃうんですね。で、仲良くさせてもらっていろんな話、お聞きしていたのですが、そのときに、いろんな方といろんなお話を聞かせていただいて、これは本当に勉強になるなっていうのはすごく思っていました。ただ、唯一なかったのが、上場会社の、やっぱり社長にはなかなか会えませんでしたね。ということがありました。

それから、その監査法人で過ごして、結局 40 のときに監査法人辞めました。ちょうどバブルが崩壊して、監査法人に対する規制が非常に厳しくなりました。コミュニケーションをあまり図っちゃいけない。さっきお話しした通り、自分の意見、アドバイスをしちやいけないっていうところで、すごいつまんなくなっていました。あとは、インターネットバブルっていうのがちょうど出てきた頃だったものですから、じゃあ、そっちをやろうよということで、その頭で。最後、上場部隊の方に戻りましたので、そのときの、監査法人のときの同僚だった山中という者、先に会計事務所を所沢で始めていたのですけれども、その彼のところに行って、じゃあ、上場支援をやろうよということで、入りました。そこで、今度は中小企業の経営者の方たちとずいぶんお話をさせていただく機会を持って、本当に勉強させていただきました。

ところが、ちょっと話を飛ばすのですけれども、その山中が、2016 年、ちょうど今から 6 年前に病気で世界してしましまして、今の税理士法人 ID パートナーズというところで税理士業務をやっております。他の会計事務所さんのことを、私よくは知らないのですけど、いわゆる記帳代行業務、一切やってないのです。それは、記帳代行って別に必要ないかなって思っているのです。会社の数字とかがって誰が一番大事かっていうと、経営者。税務署でもない、銀行でもない、経営者だということで、私たちはやらない。その代わり、そこに入る、経理として入る人を指導するっていうことを、今中心にやってます。

私はもうすぐ 65 歳になります。うちの税理士法人は 65 歳で定年になるということなのですが、今、私が考えているのは、あるいは、うちの事務所として考えているのは、お客さまのところに人を育てようよ、作ろうよ。いわゆる財務だとか税務だとかっていうことも含めて、あるいは、そのの仕事に携わる人間がどういう意識で、どういうスタンスでその職務に臨もうとするのかということについて教えることというふうに、今やっております。いろんなことたくさん見ている、最終的には人だなというふうに思いますので、そういうような形で、今うちの事務所の方はさせていただいているというところです。

もう時間が来ると思うので、お願いがありまして、もし、いい会計事務所を作りたいなという人がいたら紹介してください。それと、62 歳、まだいけそうで、いい女性がいたらぜひ、相談よろしくお願ひします。以上であります。ありがとうございました。



■ 点鐘：東京臨海 RC 杉浦孝浩会長
東京臨海北斗 RSC 小松啓祐議長

臨時総会報告

◆東京臨海ロータリークラブ

日時 2022年8月31日(水) 12:25~12:30
場所 東武ホテルレバント東京 3階「龍田」
出席者 会員57名中34名出席 委任状0通
議案

1. 東京臨海ロータリークラブ細則変更の件
変更箇所：第13条「会員身分の変更」を追加
⇒上記1議案は、全て原案通り満場一致にて承認された。

◆東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ

日時 2022年8月31日(水) 12:25~12:30
場所 東武ホテルレバント東京 3階「龍田」・「ZOOM」
出席者 会員29名中18名出席
(例会場：10名、ZOOM：8名)
委任状8通

議案

1. 東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ細則変更の件
変更箇所：第13条「会員身分の変更」を追加
⇒上記1議案は、全て原案通り満場一致にて承認された。

当クラブ例会変更

2022年9月21日(水) 例会は
休会(祝日週)です。